実施計画書　兼　事業説明書

【政策４：産業・交流】

地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち

【施策 4-1】持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

【施策 4-2】地域の強みを活かした企業誘致とビジネス集積を強化し、
地域経済の活性化を図ります

【施策 4-3】暮らしやすさや地域の魅力を発信し、
移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

政策　4	地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち

所　管	産業振興部
関　連	
関　連	

◆ミッション

豊かな暮らしの創出と、持続可能な地域を構築するため、「稼ぐ力をもったまち」を目指した戦略的な産業振興策と移住・定住促進策を展開し、働きやすさと住みよさ、暮らして楽しい、訪れて楽しい、魅力あるまちづくりを進めます。

◎「食と農」を意識した農産物のブランド化、産地化の推進による農家所得の向上と、農ある暮らし「農ライフ」の発信により、農に親しむなどの新たな担い手の確保を進めます。
◎脱炭素社会の実現に向け重要な役割を担う森林の整備を、多様な主体と連携しながら進めます。
◎地域の強みを活かした企業誘致とビジネスの集積をさらに進めるとともに、既存企業・事業者、起業・創業への支援を強化します。
◎地域産業の人材確保や農ライフと連携した独自の移住・定住促進策を展開し、人口減少に歯止めをかけます。
◎懐古園をはじめとする歴史文化や小諸市ならではの地域資源を活かしたプロモーションにより観光地域づくりを進め、内外からの誘客を促進します。

◆方　針

◎「食と農」を意識した農産物のブランド化、産地化の推進による農家所得の向上と、農ある暮らし「農ライフ」の発信により、農に親しむなどの新たな担い手の確保を進めます。
豊かで良質な食を想起させる質の高い地元農産物のブランド化を推進し、産地としての定着と農家所得向上につなげるほか、生産性向上に向けて農地の利用集積や基盤整備を進め、優良農地の確保、継承を図ります。一方で中山間地域での経営安定に向けた取組を進めるとともに、農ライフの発信により農業に親しむ人を増やし、新規就農者の育成と荒廃農地の解消につなげます。

◎脱炭素社会の実現に向け重要な役割を担う森林の整備を、多様な主体と連携しながら進めます。
CO2吸収機能としての森林の役割は大変重要であり、ゼロカーボンの実現に欠かせない森林整備は、森林環境譲与税や長野県森林づくり県民税を活用し進めます。また、着実な進展を図るために民間事業者など様々な主体との連携も進めます。

◎地域の強みを活かした企業誘致とビジネスの集積をさらに進めるとともに、既存企業・事業者、起業・創業への支援を強化します。
的確なニーズの把握による信頼度の高い営業力など投資を呼び込む組織体制を確立し、自然環境や立地特性など、小諸市の強みを活かした誘致活動の積極的な展開により、地域の経済力向上、就業機会と自主財源の確保を図ります。既存企業・事業者に対しては、事業拡大や経営・資金面での支援を行うほか、商工会議所と連携し起業・創業を積極的に支援します。また、子育てしやすい働き方ができる地域を目指し、デジタル人材の育成や産業のデジタル化を関係機関と連携して進めるとともに、地域産業の大きな課題となった人材確保への支援も強化します。

◎地域産業の人材確保や農ライフと連携した独自の移住・定住促進策を展開し、人口減少に歯止めをかけます。
引き続き、空き家バンクのさらなる充実やセミナー、イベントの開催、民間宅地開発の誘導などを進めるとともに、新たに地域の人材確保や農ライフを切り口とした小諸市独自の移住・定住促進策を積極的に展開し、年々変化する移住ニーズに対応します。

◎懐古園をはじめとする歴史文化や小諸市ならではの地域資源を活かしたプロモーションにより観光地域づくりを進め、内外からの誘客を促進します。
小諸市の観光の持ち味である「自然・歴史・文化」と、食や各種体験など魅力的なスポットを活かしたプロモーションをこもろ観光局と連携して展開し、内外からの誘客につなげます。需要が急速に回復したインバウンドに対しては、ターゲットを見据えた誘致活動を積極的に行います。また、開園100周年の節目を迎える動物園は、再整備2期工事を着実に行い入園者の増加を図ります。

政策　4	地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
施策　4－1	持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

所　管	農林課
関　連	―
関　連	―
関　連	―
関　連	―
関　連	―

◆現状と課題

小諸市の農業は、多様な生産品目や生産規模が特徴となっています。近年は、兼業より小規模で出荷を伴わない園芸を楽しむ耕作者（農ライフ）も積極的に位置づける必要性も急激に高まっています。耕作条件においても、土地利用型農業により経営が確立できる地域や一連のほ場から、急傾斜不成形といった耕作条件の厳しい地域まで様々な状況となっています。
土地利用型農業では、稼ぐ力を高めるためには認知・訴求を高め、産地形成による市場等への発信が求められています。
耕作条件が不利な地域では、小規模多品目生産となっているため高単収となる品目・生産形態への移行検討と併せて農ライフによる農地維持や農村の活性化に期待が高まっています。
超高齢化や後継者不足、農道や用排水路といった農業用施設の老朽化は共通の課題で、農地の遊休化・荒廃化は加速度的に進行している状況となっています。
国有林を除く森林は、林業経営に向かない小規模な森林が多く、林業経営による森林の維持は難しい状況となっています。

◆方針

目的
・食料と農業は生活に欠かせない基盤で、特に小諸市は農産物が豊かで良質である強みがあるため、ブランド化により訴求力を図っていきます。特に高品質な農産物を理解してもらうために「食」を通じた情報発信を強く進めていくこととします。 ・生活の基盤である農産物を安全・安心に食することができるよう地産地消を進め、特に農業・農村の文化や歴史とともにこどもたちへ届ける取組を推進します。 ・集積や集約を含めた優良農地の維持が安定的な農業経営のために不可欠なため、農業用施設の計画的な改修等を進めます。 ・高単収品目の推進では、品目の選定・スマート農業の活用・新たな栽培形態等JAや関係企業との連携による取組を進めます。 ・農地・農村の活性化を図るため、「農ライフ」の観点による帰農を含めた新たな人材の確保を図ります。 ・森林（もり）整備では、小規模森林整備を進めるために経営管理計画策定を林業事業体と連携し進めます。

◆今後の取り組みのうち令和7年度重点方針と目標

・気候条件の変化による生産状況・販売状況が激変しているため、新産地形成と新たな生産方法のモデル実施を重点として推進する。
・既存作目については既に高品質である強みを活かし、食味・健康の面から訴求させることを重点的に推進する。
・優良農地維持のため、土地改良区域内施設の補修等を計画的に推進する。
・小規模森林整備を担う林業体の育成・支援を強化することで小規模森林の整備を推進する。
・農業団体、農業経済団体等との連携により事業効果を高めるため、団体間の連携を強化する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計　画
①小諸の農全体・個別の農産物・農ライフ等の認知度を「食」を通じた手法で強力に高めるなど、ブランド化がそれぞれスパイラルアップできる状態 ②「食」生活は特にこどもの成長では大切であるため、地域農業・農産物で安心感を得られる状態 ③専業（的な）農業経営では、産地と優良農地の維持・発展による安定的な経営と高単収作物の移行が進んでいる状態（女性の活躍など多様な担い手が活躍している状態） ④農ライフを中心に多様な農地利用や農村での様々な活動が活性化されている状態 ⑤森林（もり）では、森林経営管理制度による取組が計画的に進んでいる状態（森林所有者が自身の森林管理への関わり）

◆成果指標（アウトカム）

・目標の計画と達成状況

指標名	遊休地面積					
設定理由	持続的な農業ができていれば遊休荒廃化は進行しないため					
算　式					単位	ha
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	305	計画	310	310	310	310
		実績				
指標名	森林経営管理計画に基づく森林整備が開始された地区数					
設定理由	森林所有者の意向による計画的な森林整備が不可欠なため					
算　式					単位	地区
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	0	計画	1	1	2	2
		実績				
指標名						
設定理由						
算　式					単位	
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		計画				
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針	維持

①個別の農産物の特性（強み等）を活かしたブランド化を進める。気候変化に対応した作目の導入等新たな産地形成、既存作目の認知度向上の両面を戦略的に進める。
②生きがいとして農産物の生産を行っている小規模農家等が地産地消の中心的になっているため、直売所等の持続性を高められるような取り組みを進める。
③農業経営が確立できるよう農業生産基盤の整備を進める。（①の新産地形成含む）
④農地利用の多様性を進めるため、これまでにない（専業にこだわらない）農地利用（農ライフ）の発信を更に強化する。
⑤森林経営管理制度を着実に進めることが、持続的な森林整備となるため計画策定と同時進行で森林整備（施業）を進める。

◆個別計画

地域計画（農業経営基盤強化促進法関係）／農業農村振興地域整備計画／農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針／森林整備計画

◆特記事項

施策　4-1　持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
農業委員会運営費	継続	B
会計・款・項・目	**所管課**	**市長公約事項**
一般会計・6農林水産業費・1農業費・1農業委員会費	農林課	1：無

事業概要

【運営費】
農地法等の法令業務の執行等、農業委員会活動にかかる運営費

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		17,339 千円	17,784 千円	20,268 千円
特定財源	国・県支出金	2,559 千円	2,559 千円	2,559 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	10 千円	10 千円	10 千円
一般財源		14,770 千円	15,215 千円	17,699 千円

目的

農地法等の法令業務の適正な執行、優良農地の確保・農地利用最適化及び農業振興。

令和7年度の目標

農地法等の法令業務の適正な執行及び地域計画の策定の更新、優良農地の確保・農地利用最適化を行う。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
農業委員会の開催数	回	12	12	12
農業者との話し合い	回	7	7	7

特記事項

第25期農業委員会の任期は令和5年7月20日から令和8年7月19日まで

施策　4-1　持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
機構集積支援事業	継続	B
会計・款・項・目	**所管課**	**市長公約事項**
一般会計・6農林水産業費・1農業費・1農業委員会費	農林課	1：無

事業概要

・農地の利用状況調査をもとに、耕作放棄地の所有者等に利用意向調査を行う。
・利用意向調査の結果をもとに農地の利用関係の調整を行う。
・農地の有効活用を促進するため、耕作放棄地対策事業を実施する。

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		8,603 千円	8,761 千円	8,761 千円
特定財源	国・県支出金	850 千円	850 千円	850 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	1,020 千円	1,020 千円	1,020 千円
一般財源		6,733 千円	6,891 千円	6,891 千円

目的

優良農地の確保及び食糧自給率の向上を図るため、耕作可能農地の確保を行う。
農地の有効利用を図るため、担い手への農地の集積を図る。

令和7年度の目標

農業委員、農地利用最適化推進委員、農地中間管理機構の連携により、農地を担い手へ集積させ農地利用の最適化を図る。
農地利用状況調査により把握した情報を活用し、遊休農地の担い手への集約・集積を進める。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
再生利用が可能な荒廃農地面積	ha	306以下	306以下	306以下
耕作放棄地所有者等の利用意向調査	件	300	300	300

特記事項

施策　4-1　持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
農業農村振興事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費	農林課	1：無

事業概要

・農業生産の拡大や各作物の振興を図ることを目的に、農業者や各種団体等への負担金及び補助金、交付金を支出
・都市農村交流等による農村の活性化をブランド化等と併せて推進
・非農家の家庭菜園ニーズに応える市民農園の貸付及び運営、管理

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		15,998 千円	15,998 千円	15,998 千円
特定財源	国・県支出金	5,967 千円	5,967 千円	5,957 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	300 千円	300 千円	300 千円
一般財源		9,731 千円	9,731 千円	9,741 千円

目的

農業農村振興に寄与する各種団体への補助金交付により、農業者の経営安定と農業構造の改善を図り、もって農業の活性化を推進する。

令和7年度の目標

・直面する課題等を分析し、負担金及び補助金、交付金等が効果的かつ効率的に執行できるよう関係団体等との協議を積極的に行う。
・農業者の経営安定と農業構造改革につながるよう適正に執行する。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
水稲作付目安値達成状況（100%以下）	%	100	100	100

特記事項

施策　4-1　持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
畜産振興事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費	農林課	1：無

事業概要

安全で安心な畜産物の生産供給を図るため、小諸市家畜自衛防疫協会を組織して関係機関と連携し、生産者が行う自衛防疫活動支援等を推進する。
・各種予防注射、消毒等の推進
・畜産衛生広報の推進等

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		1,488 千円	1,634 千円	1,488 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	508 千円	581 千円	508 千円
一般財源		980 千円	1,053 千円	980 千円

目的

生産者が実施する予防注射や消毒等の自衛防疫活動を支援することにより、安全で安心な畜産物の生産供給及び畜産業の活性化、農業者の所得向上を図る。

令和7年度の目標

・伝染病発生等の危機管理を徹底するとともに、関係情報を適時に発信する。
・畜産をめぐる情勢や動向、国の新規制度等を迅速に把握し、農業者に適切な指導を行う。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
牛予防注射・検査実施率	%	100	100	100

特記事項

施策　4-1　持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
農村資源活用施設管理事業	継続	B
会計・款・項・目	**所管課**	**市長公約事項**
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費	農林課	1：無

事業概要

・「あぐりの湯こもろ」「みはらし交流館」「農産物加工施設」等の適切な維持管理
・温泉の活用により市民の健康増進や福祉向上を図る。
・施設の特長を生かした農産物ブランド化や6次産業化等により、農業農村の活性化を図り、農家経営所得の向上につなげる。

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		11,502 千円	5,951 千円	5,951 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	60 千円	60 千円	60 千円
一般財源		11,442 千円	5,891 千円	5,891 千円

目的

「あぐりの湯こもろ」「みはらし交流館」「農産物加工施設」等の適切な維持管理を行い、利用客を確保するとともに、地産地消推進や地域雇用拡大、6次産業化推進等により農業者の所得向上を図る。

令和7年度の目標

・【あぐりの湯】農産物等の情報発信拠点として品揃え等の充実を図る。指定管理委託の更新に向けた検討を進める。
・【みはらし交流館】関係人口の増加に向け、地域資源と連携した取組みを行う。
・【農産物加工施設（小諸すみれ）】後継者問題等の解決に向けた研究を共同で行う。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
あぐりの湯こもろ　入館者数	人	220,000	220,000	220,000

特記事項

施策　4-1　持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
中山間地域等直接支払事業	継続	B
会計・款・項・目	**所管課**	**市長公約事項**
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費	農林課	1：無

事業概要

中山間地域における農業生産条件の不利による耕作放棄地の発生を防ぎ、農地の持つ多面的機能の確保を図るため、農業生産条件の不利を補正することを目的に、国が維持管理等の共同作業の推進に要する経費を交付金として支出する中山間地域等直接支払事業を推進する。
・交付金の交付事務
・協定集落（交付団体）活動の管理
・集落営農組織等の育成

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		58,300 千円	58,300 千円	58,300 千円
特定財源	国・県支出金	42,830 千円	42,830 千円	42,830 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		15,470 千円	15,470 千円	15,470 千円

目的

中山間地域では、農業生産条件の不利に加え、農業者の高齢化や担い手不足が課題となっており、本事業を行うことにより耕作放棄地の発生を防ぐとともに、共同活動による地域の活性化や農村の景観や国土の保全に寄与する。

令和7年度の目標

・地区協定の維持及び確保
・組織内の営農活動の推進
・第6期対策の円滑な実施

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
集落協定面積	ha	300	300	300

特記事項

施策　4-1　持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
農業人材育成事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費	農林課	1：無

事業概要

農業の担い手を確保し、持続的な農業生産と農業農村の振興を推進する。
・認定農業者の確保と営農支援
・新規就農者の確保と就農支援
・持続可能な農業展開に向けた総合的な農業農村振興の推進

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		6,516 千円	6,516 千円	6,516 千円
特定財源	国・県支出金	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		2,016 千円	2,016 千円	2,016 千円

目的

夢の持てる農業の実現に向け、担い手の確保や育成、新規就農者の確保を進めるとともに、持続可能な農業生産のための仕組みづくりと、関係機関等による農業者支援を推進する。

令和7年度の目標

・【担い手確保】地域農業の担い手である認定農業者及び新規就農者の増加
・【経営体育成支援事業】意欲ある経営体が規模拡大や経営多角化を図るために、農業機械等の整備を支援する。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
農業生産法人及び農業生産組織（集落営農等）数	組織	20	20	20
新規就農者（農業者子弟を含む）数	人	3	3	3

特記事項

施策　4-1　持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
農産物ブランド化事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費	農林課	2：有

事業概要

・「小諸の農」のファンを増やす。（＝小諸市の農業の地域ブランド化を推進）
・「ワイン（ぶどう栽培）」「そば」等、個別の農産物を差異化（＝個別農産物のブランド商品化）することで、販売向上と観光資源化を図る。
・6次産業化の推進により、農業者の経営安定と所得向上を図る。

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		20,393 千円	20,393 千円	17,365 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		20,393 千円	20,393 千円	17,365 千円

目的

農業者の所得向上と経営の安定化のため、特長的な農産物の振興や「小諸の農」の地域ブランド化、6次産業化を推進し、農業者の収入（販売額）増加と農村地域の活性化を目指す。

令和7年度の目標

・小諸市農業の地域ブランド化（=ファンづくり）を推進する。
・農産物の販路拡大や6次産業化の推進による高付加価値化を図り、個別農産物のブランド商品化を推進する。
・個別商品（=ブランド商品）の生産確保を図る。
・社会情勢の変化に対応する、そば、麦類の振興を推進する。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
小諸の農のブランド（商品）化推進組織数	組織	2	2	2
市内ワイナリー数	件	8	8	8

特記事項

令和元年度予算から6次産業化の取組みが、ブランド化の取組みに重複する部分も多いことから、農産物ブランド化事業（当事業）へ統合

施策　4-1　持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
土地改良事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費	農林課	1：無

事業概要

小諸市が事業主体となり、土地改良事業等分担金徴収条例に基づく分担金等を徴収して、農業生産基盤である、農道、用排水施設、基幹水利施設、暗渠排水、畑地かんがい、ため池、農地等の整備を行う。

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		81,922 千円	35,210 千円	35,210 千円
特定財源	国・県支出金	18,500 千円	14,000 千円	9,000 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	6,129 千円	3,000 千円	3,000 千円
一般財源		57,293 千円	18,210 千円	23,210 千円

目的

農業の生産性向上及び、農業構造（農地耕作条件）の改善を図るために必要な農業生産基盤の整備を行う。

令和7年度の目標

農業生産基盤の整備と防災減災対策を行う。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
農作業道整備延長	m	150	150	150
用水路整備延長	m	100	100	100

特記事項

・市道7156号線（滝原区）農道改良は長期懸案事項であったほ場整備要望に対する代案。
・みまき大池施設改修は堤体変位観測機器の更新である。（地元地区との合意形成に時間を要する。）
・災害防除のため、排水ゲート設置による積極的コントロールが必要。

施策　4-1　持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
土地改良区等補助金交付事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費	農林課	1：無

事業概要

土地改良区等への事務的経費支援

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		25,613 千円	24,038 千円	23,448 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	900 千円	0 千円	0 千円
一般財源		24,713 千円	24,038 千円	23,448 千円

目的

土地改良区等の安定的・効率的な運営の確保のため。

令和7年度の目標

土地改良区等の定款、規約等及び総会等に基づき適切な支援を行う。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
小諸市土地改良連合会への補助金額	千円	5,985	5,985	5,985
千ヶ滝湯川用水土地改良区への補助金額	千円	2,807	2,808	2,808

特記事項

小諸市土地改良連合会への補助を増加し人員確保を行ってもらい、ほ場整備区域（6地区）内の水路等維持補修を補助事業を活用し、事業主体として実施できないか、また、直接支払（中山間・多面的）交付金事業の事務を移管できないか、検討していく必要がある。

施策　4-1　持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
農地保全協働事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費	農林課	1：無

事業概要

農業農村振興対策事業補助金交付要綱等に基づき、農業者等が自ら農業の生産性向上及び、農業構造（農地耕作条件）の改善を図るために必要な農業生産基盤の整備に取り組むことに対し支援を行う。

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		7,633 千円	7,700 千円	7,700 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		7,633 千円	7,700 千円	7,700 千円

目的

地域の特性に応じた農業生産活動として行われる、地域資源の適切な保全管理や効果的な農業基盤整備のための地域協働活動に対し支援を行う。

令和7年度の目標

地域の特性に応じた農業生産活動に係る支援を行う。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
原材料支給実施箇所	件	30	30	30
機械借上げ実施箇所	件	3	3	3

特記事項

・地域で自らが農業生産基盤を維持していくための人材やノウハウが脆弱になってきており、活用できにくくなっている。
・土地売買の際に、地域活動により整備した道水路が越境している事例が問題となるケースがあるため、対策が必要。

施策　4-1　持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
多面的機能支払交付金事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費	農林課	1：無

事業概要

農業・農村の多面的機能発揮のための地域活動や営農継続等に対する支援を行う。農地維持支払として、地域資源の基礎的保全活動や多面的機能を支える共同活動を支援。資源向上支払として、地域資源の質的向上を図る共同活動や施設の長寿命化のための活動を支援。

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		13,240 千円	13,240 千円	13,240 千円
特定財源	国・県支出金	9,929 千円	9,929 千円	9,929 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		3,311 千円	3,311 千円	3,311 千円

目的

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進することにより、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるようにする。

令和7年度の目標

引き続き活動支援を行う。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
田における活動面積	ha	90	90	90
畑における活動面積	ha	222	222	222

特記事項

H30年度　活動組織数7団体　活動面積254ha　R3年度 活動組織数8団体　活動面積251ha
R1年度　活動組織数8団体　活動面積255ha　R4年度 活動組織数10団体　活動面積312ha
R2年度　活動組織数8団体　活動面積252ha　R5年度 活動組織数10団体　活動面積312ha

施策　4-1　持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
林業振興事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費	農林課	1：無

事業概要

・林業振興のため必要な事業を各種団体へ委託し活性化、又は被害防除を行う。
・林地台帳管理システムの精度向上を図り、森林所有者に公表を行う。

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		1,450 千円	4,791 千円	1,291 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		1,450 千円	4,791 千円	1,291 千円

目的

・林地台帳管理システムの整備
・深沢施設の適正な維持管理

令和7年度の目標

・林地台帳管理システムの精度向上を図り、森林所有者に公表を行う。
・深沢管理施設の適正な維持管理を実施する。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
深沢管理施設のパトロール回数	回	4	4	4

特記事項

平成28年度の森林法改正に伴い、森林所有者の情報を林地台帳として整備し公表する制度が創設されたことを受け、林地台帳管理システムの構築を行い、公表に向けた森林所有者情報等の精度向上を行う必要がある。

施策　4-1　持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
野生鳥獣保護・管理事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費	農林課	1：無

事業概要

・野生鳥獣対策実施隊による野生鳥獣の適正な捕獲及び被害防止対策の実施。
・商品化施設に商品等の原料となるニホンジカを安定供給し、施設の安定運営を行う。

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		16,141 千円	15,953 千円	15,953 千円
特定財源	国・県支出金	2,380 千円	2,380 千円	2,380 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	2,540 千円	2,540 千円	2,540 千円
一般財源		11,221 千円	11,033 千円	11,033 千円

目的

野生鳥獣による人的被害・農林水産業被害等を軽減することを主たる目的としつつ、生物多様性保全・景観保全の観点から科学的なマネジメントを行うとともに、市民の野生鳥獣への意識向上を図る。

令和7年度の目標

・鳥獣被害防止計画に基づくニホンジカの捕獲計画数250頭+保護区内捕獲数50頭
・商品化施設の施設の適切な維持管理を行う。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
ニホンジカ捕獲頭数	頭	300	300	300
有害鳥獣による農業被害額	千円	2,000	2,000	2,000

特記事項

施策　4-1　持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
森林（もり）の里親事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費	農林課	1：無

事業概要

長野県が推進する森林の里親促進事業により、環境保全活動に熱心に取り組む企業と共に協働の森づくりを行う森林の里親契約を締結し、企業支援による協働の森づくりを行う。

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		500 千円	500 千円	500 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	500 千円	500 千円	500 千円
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円

目的

森林をキッカケとした企業との様々な交流から、当市のシティプロモーションを進め、農林商工観光を含めた経済振興へと発展させる。

令和7年度の目標

・森林の里親企業と協働し森林整備を進めながら、様々な交流活動へと発展させる。
・狛江市との協定に基づき、森林整備を推進し、狛江市民の環境教育に寄与する。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
森林整備体験学習の実施回数	回	6	6	6

特記事項

施策　4-1　持続可能で多様な小諸の「農」と「森林（もり）」を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
森林環境整備事業	継続	B（A）
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費	農林課	1：無

事業概要

森林の多面的な機能を発揮させ持続可能な社会を実現するため、森林を取り巻く環境整備（間伐・除伐・下刈り等）を促進させるとともに、森林環境譲与税を活用した事業を推進することで、森林の循環サイクルを推進していく。

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		32,480 千円	29,032 千円	28,240 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	2,723 千円	2,121 千円	1,821 千円
一般財源		29,757 千円	27,211 千円	26,419 千円

目的

森林の持つ多面的機能（生物多様性や水資源の保全、土砂災害を防止する等）の発揮と、森林の循環サイクルの促進

令和7年度の目標

・森林経営管理制度実施方針に基づき、意向調査・集積計画作成・施業の推進を図る。
・林業事業体が効率的な森林整備を行えるよう森林経営計画区域を拡充する。
・森林環境譲与税を活用し、森林所有者自らが森林経営が行えるよう補助制度を拡充する。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
森林環境譲与税を活用した森林整備面積	ha	10	10	10
森林経営管理意向調査数	件	300	300	300

特記事項

事務事業名				新規・継続
農業総務費運営費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・6農林水産業費・1農業費・2農業総務費				農林課
投入指標		令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	397 千円	397 千円	397 千円
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	397 千円	397 千円	397 千円

事務事業名				新規・継続
農業総務費人件費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・6農林水産業費・1農業費・2農業総務費				農林課
投入指標		令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	128,902 千円	128,902 千円	128,902 千円
	特定財源 国・県支出金	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円
	特定財源 地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 その他	1,880 千円	1,880 千円	1,880 千円
	一般財源	124,022 千円	124,022 千円	124,022 千円

事務事業名				新規・継続
農地費運営費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費				農林課
投入指標		令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	1,552 千円	1,554 千円	1,554 千円
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 その他	26 千円	26 千円	26 千円
	一般財源	1,526 千円	1,528 千円	1,528 千円

事務事業名				新規・継続
県営農業農村整備事業				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費				農林課
投入指標		令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	25,404 千円	50,075 千円	50,075 千円
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 地方債	22,800 千円	45,000 千円	45,000 千円
	特定財源 その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	2,604 千円	5,075 千円	5,075 千円

事務事業名				新規・継続
農業用施設維持補修事業				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費				農林課
投入指標		令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	27,000 千円	117,000 千円	167,000 千円
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 その他	2,590 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	24,410 千円	117,000 千円	167,000 千円

事務事業名				新規・継続
高峰財産区事業				継続
会計・款・項・目				所管課
高峰財産区特別会計・1農林水産業費・1林業費・1林業総務費				農林課
投入指標		令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	4,043 千円	4,043 千円	4,043 千円
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 その他	43 千円	43 千円	43 千円
	一般財源	4,000 千円	4,000 千円	4,000 千円

事務事業名				新規・継続
御牧ヶ原財産区事業				継続
会計・款・項・目				所管課
御牧ケ原財産区特別会計・1農林水産業費・1林業費・1林業総務費				農林課
投入指標		令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	19,852 千円	19,852 千円	19,852 千円
	特定財源 国・県支出金	1,362 千円	1,362 千円	1,362 千円
	特定財源 地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 その他	8,620 千円	8,620 千円	8,620 千円
	一般財源	9,870 千円	9,870 千円	9,870 千円

事務事業名				新規・継続
古牧財産区事業				継続
会計・款・項・目				所管課
古牧財産区特別会計・1農林水産業費・1林業費・1林業総務費				農林課
投入指標		令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	2,400 千円	2,400 千円	2,400 千円
	特定財源 国・県支出金	415 千円	415 千円	415 千円
	特定財源 地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 その他	698 千円	698 千円	698 千円
	一般財源	1,287 千円	1,287 千円	1,287 千円

事務事業名				新規・継続
滋野財産区事業				継続
会計・款・項・目				所管課
小諸市滋野財産区特別会計・1農林水産業費・1林業費・1林業総務費				農林課
投入指標		令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	743 千円	743 千円	743 千円
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 その他	62 千円	62 千円	62 千円
	一般財源	681 千円	681 千円	681 千円

事務事業名				新規・継続
乗瀬地区市有地管理事業				継続
会計・款・項・目				所管課
乗瀬地区市有地管理事業特別会計・1農林水産業費・1林業費・1林業総務費				農林課
投入指標		令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	241 千円	241 千円	241 千円
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 その他	41 千円	41 千円	41 千円
	一般財源	200 千円	200 千円	200 千円

事務事業名				新規・継続
農地農業用施設単独災害復旧事業				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・11災害復旧費・1農林水産施設災害復旧費・1農地農業用施設災害復旧費				農林課
投入指標		令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	50 千円	50 千円	50 千円
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源 その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	50 千円	50 千円	50 千円

政策　4	地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
施策　4－2	地域の強みを活かした企業誘致とビジネス集積を強化し、地域経済の活性化を図ります

所　管	商工観光課
関　連	―
関　連	―
関　連	―
関　連	―
関　連	―

◆現状と課題

首都圏からの良好なアクセスと、歴史遺産や美味しい食文化の適地としての認知度、豊かな自然環境や8源泉10か所の温泉など、人の心に響く魅力的な資源が沢山あります。

また、軽井沢エリアとしてのブランド力など、企業が求める一定条件を備えた地域として、積極的な企業誘致を進めています。しかし、企業誘致として提供できる自己所有地がないため、新産業団地の整備は急務です。

物価高騰による経済支援が続くなか、持続的な地域経済を構築するためには、既存企業や新規起業者への支援、商工会議所と連携した企業・創業を積極的に支援する必要があります。

◆方針

目的
地域の強みを活かした積極的な企業誘致・ITビジネス集積は、的確なニーズの把握による信頼度の高い営業を行うとともに、競争力をさらに高めるための新産業団地の整備を着実に進める必要があります。 また、既存企業の事業拡大や技術力向上への支援に引き続き注力するほか、今後、絶対的に必要となるデジタル人材の雇用確保、事業所のIT業務拡大等を契機に女性が活躍できる仕事の支援など、子育て世代が安心して働くことができる職場づくりを、商工会議所と連携して支援します。 さらに、専門性が高いITエンジニアの育成と人材の雇用促進をすることにより、事業者の業務改善と就労支援を促します。 市独自の取組である信州小諸ジョブセンターを積極的に活用しながら、地域内のみならず地域外からの担い手づくりとしての人材誘致にも積極的に関わることにより、地域経済の新しい担い手を確保します。

◆今後の取り組みのうち令和7年度重点方針と目標

・信州小諸ジョブセンターを活用し、市内企業への就業を支援する。
・新産業団地整備の業務を着実に進めるとともに、積極的な企業誘致とビジネスの集積を図る。
・企業訪問などを通じて市内企業の動向やニーズを把握し、経済環境の変化も踏まえた的確な支援を行う。
・商工会議所と連携し起業創業を支援し、経済とまちづくりの担い手を育成する。
・物価高騰等の影響を受けた事業者を継続的に支援する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計　画
①地域住民だけでなく、移住者など地域外ニーズにも応えられる就業先がある状態。 ②起業、創業により新たな事業活動や遊休不動産等の活用などの経済効果が生じる状態。 ③継続的な支援により、物価高騰の影響による地域経済の落ち込みを改善した状態。

◆成果指標（アウトカム）

・目標の計画と達成状況

指標名	企業立地数						
設定理由	新規企業の立地や既存企業の増設は、新たな雇用の創出と税収など財政力の強化に直結するから。						
算　式	新規立地9件、増設2件					単位	件
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	11	計画	5以上	5以上	5以上	5以上	
		実績					
指標名	市内での起業・創業件数（小諸商工会議所「創業塾」「チャレンジ企業相談室」における件数）						
設定理由	起業・創業により経済の担い手が増え、事業活動や消費行動が広がることで地域経済が活性化するから						
算　式						単位	件
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	23	計画	15以上	15以上	15以上	15以上	
		実績					
指標名							
設定理由							
算　式						単位	
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針	維持

・他自治体との差別化を図り、「こもろらしさ」を地域の強みに加えて企業やビジネスの誘致を積極的に進める。IT関連企業の集積やサテライトオフィス、シェアオフィスなどの誘致を強化する。
・企業誘致の競争力を高めるため新産業団地整備を進める。
・既存企業の事業拡大や設備投資への支援を継続するとともに、人材確保への支援を強化する。
・商工会議所と連携し起業者を育成するとともに、空き店舗等の活用では外部人財の誘致や支援も強化し、地域経済の担い手を確保する。
・燃料及び原材料高の影響を受ける事業者に的確な支援を実施する。

◆個別計画

◆特記事項

施策　4-2　地域の強みを活かした企業誘致とビジネス集積を強化し、地域経済の活性化を図ります

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
労働振興事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・5労働費・1労働費・1労働諸費	商工観光課	1：無

事業概要

・雇用促進や就労支援のための就職相談会、事業所視察会等の実施
・勤労者の福利増進のため生活資金融資制度の実施
・勤労者の福利増進のための事業支援

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		71,845 千円	71,989 千円	71,989 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	70,121 千円	70,121 千円	70,121 千円
一般財源		1,724 千円	1,868 千円	1,868 千円

目的

雇用の促進と勤労者の福利増進を図る。

令和7年度の目標

・例年行っている小諸北佐久勤労者互助会への加入促進と加入者の福利厚生事業の更なる向上を目指す。
・労政審議会の開催に加え、職業安定協会、佐久地域振興局等の関係機関と連携した子育て期の女性や若年者の雇用促進と就労支援に向けた取組みの周知を図る。
・小諸市の企業を高校生に知ってもらうために、佐久地域の高校と連携し情報提供を図る。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
労政審議会の開催	回	1	1	1
小諸北佐久勤労者互助会へ新規加入した市内事業所数	事業所	3	3	3

特記事項

・小諸・北佐久勤労者互助会として、立科町、御代田町、軽井沢町の会員数の増加についても、各町の事務局担当課を通じて引き続き働きかけを行っていく。

施策　4-2　地域の強みを活かした企業誘致とビジネス集積を強化し、地域経済の活性化を図ります

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
商工業総合振興事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費	商工観光課	1：無

事業概要

・商工会議所が行う事業に対する助成
・商店会連合会への助成
・空き店舗の活用促進
・既存事業者への支援
・起業への支援

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		32,370 千円	32,370 千円	32,370 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		32,370 千円	32,370 千円	32,370 千円

目的

商工会議所が実施する経営指導、起業相談に助成を行い、商工業の振興を図る。
商店街の活性化により中心市街地の賑いを創出する。

令和7年度の目標

・小諸市の商工業の振興や課題解決のため中小企業振興審議会を開催し、振興策について議論を進める。
・商店街が活性化されるような各種イベントや既存店舗の活性化を支援する。
・チャレンジ起業相談室及び創業塾と連携し18件の起業を実現させる。
・チャレンジ起業相談室と連携し、空き店舗等の活用を促進するとともに、空き店舗を活用した小諸での起業を実現できるよう支援する。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
中小企業振興審議会の開催	回	2	2	2
チャレンジ起業相談室を通じた起業数	件	20	20	20

特記事項

施策　4-2　地域の強みを活かした企業誘致とビジネス集積を強化し、地域経済の活性化を図ります

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
制度融資事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費	商工観光課	1：無

事業概要

・中小企業者に対する制度融資の実施

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		619,611 千円	568,019 千円	518,019 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	602,000 千円	502,000 千円	502,000 千円
一般財源		17,611 千円	66,019 千円	16,019 千円

目的

融資あっせん及び融資保証料、利子の補給を行い、中小企業者の経営安定を図る。

令和7年度の目標

・中小企業の利用しやすく効果的な融資制度とする。
・各金融機関の担当者や経営相談員との連携を図り、融資制度について検討するために融資あっせん委員会を開催する。
・新型コロナウイルス経済対策として、新型コロナウイルス感染症対策資金の利子補給を行い、影響を受けている中小企業者の支援をする。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
融資あっせん委員会の開催	回	1	1	1
市制度融資実績	千円	300,000	300,000	300,000

特記事項

施策　4-2　地域の強みを活かした企業誘致とビジネス集積を強化し、地域経済の活性化を図ります

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
企業立地推進事業	継続	B（A）
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費	商工観光課	2：有

事業概要

・新規企業の誘致
・既存企業の支援
・産業団地に関すること

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		111,184 千円	38,924 千円	38,333 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	90,131 千円	18,518 千円	17,927 千円
一般財源		21,053 千円	20,406 千円	20,406 千円

目的

新産業団地の整備を進め企業誘致に努める。企業の事業拡大や技術力向上への支援を継続し、デジタル人材の雇用確保や女性が活躍できるための環境整備を商工会議所と連携し行う。信州小諸ジョブセンターを積極的に活用し地域経済の新しい担い手の確保に努める。

令和7年度の目標

・積極的な営業や情報収集により企業のニーズを把握し、企業支援、企業・店舗誘致に取り組む。
・信州小諸ジョブセンターの価値を高め、企業の人材確保に努める。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
企業支援助成金交付件数	件	50	50	50
企業相談訪問件数	件	150	150	150

特記事項

新産業団地整備に係る業務は、令和5年度から「産業団地整備事業」を新設している。

施策　4-2　地域の強みを活かした企業誘致とビジネス集積を強化し、地域経済の活性化を図ります

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
産業団地整備事業	継続	A
会計・款・項・目	**所管課**	**市長公約事項**
小諸市産業団地整備事業特別会計・1産業団地整備事業費・1産業団地整備事業費・1産業団地整備事業費	商工観光課	2:有

事業概要

・産業団地の造成、販売

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		479,000 千円	29,657 千円	207,384 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	479,000 千円	29,657 千円	207,384 千円
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円

目的

雇用及び税収の確保のため、新たな産業団地を整備する。

令和7年度の目標

造成工事に着手し、誘致する企業の選定に取り掛かる。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
産業団地造成工事	%	75	75	75
産業団地販売件数（4区画）	%	25	50	75

特記事項

事務事業名					新規・継続
商工総務費人件費					継続
会計・款・項・目					所管課
一般会計・7商工費・1商工費・1商工総務費					商工観光課
投入指標			令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費		93,021 千円	93,018 千円	93,018 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源		93,021 千円	93,018 千円	93,018 千円

事務事業名					新規・継続
産業団地整備事業特別会計繰出金					継続
会計・款・項・目					所管課
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費					商工観光課
投入指標			令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費		89,700 千円	29,600 千円	0 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源		89,700 千円	29,600 千円	0 千円

政策　4	地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
施策　4－3	暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

所　管	商工観光課
関　連	―
関　連	―
関　連	―
関　連	―
関　連	―

◆現状と課題

良好なアクセスと豊かな自然環境、浅間山や懐古園を中心とした小諸ならではの観光など、観光誘客や移住・定住につながる地域の魅力は一定の評価を受けていますが、効果的なプロモーションなどの情報発信や素材づくりに課題があります。観光面では、こもろ観光局と連携した「観光地域づくり」の具体化や動物園再整備による懐古園の魅力アップなど、各事業者が一体となった誘客の取組が必要です。

あわせて、人口減少対策として移住・定住をさらに進めるためには、充実した素材の提供が課題であり、時期にあった新たな視点を持ちながら、より踏み込んだ取組とする必要があります。

◆方針

目的
こもろ観光局と連携し、地域が持つ小諸市でしか味わえない魅力的な観光を効果的に伝え、ブランド力を活かした情報発信を進め観光誘客を図るとともに、地域資源の活用による新たな観光素材の掘り起こしなど観光地域づくりを進めます。 懐古園は、「学ぶ」「遊ぶ」「楽しむ」が揃った貴重な施設で、特に動物園は、子育て家庭に届けられる貴重な財産と言え、動物園を再整備することにより、子育て環境の充実と憩いの場を提供します。あわせて、動物園開園100周年に関連したイベントを実施することにより、懐古園全体の魅力向上と一層の観光誘客を促します。 また、日本文化や歴史、自然を愛する内外からの旅行者やインバウンドをターゲットにした観光戦略を立て実践します。 移住・定住促進において、民間事業者の視点をもちながら誘致活動を行い、移住希望者へ農ライフ事業などの新たな移住施策を促すことで、小諸ならではの選択肢を増やします。 また、人口減少対策を見据えたまちづくりの担い手育成として、人材誘致の観点も持ち積極的に進めます。

◆今後の取り組みのうち令和7年度重点方針と目標

・火山館の改修や登山道の整備を行い、山岳観光のブランド化を進める。
・移住定住促進の取組みを強化し、人口社会増を継続する。
・動物園再整備第2期整備を工期内に完了し、開園100周年に向けて準備を進める。
・物価高騰や原材料高等の影響を受けた事業者を継続的に支援する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計　画
①事業関係者や地域住民が地域の強みや魅力を認識し、連携した誘客に取り組む状態 ②新築住宅着工数や空き家バンク物件成約件数が向上し、移住・定住が増えた状態 ③継続的な支援により、物価高騰の影響による消費の落ち込みを改善した状態

◆成果指標（アウトカム）

・目標の計画と達成状況

指標名	新築住宅着工数と空き家バンク契約数						
設定理由	今後の景気動向などを踏まえ、新築着工数110件と空き家バンク契約数10件を目標として取り組む						
算　式	新築着工数＋空き家バンク契約数					単位	件
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	136	計画	120	120	120	120	
		実績					
指標名	市内宿泊者数						
設定理由	小諸市での宿泊者数を観光やビジネス活動の物差しとして捉えると、観光産業等の回復を図るためには、この数値の回復、増加が必要となるから						
算　式	市が実施する市内宿泊施設聴き取り調査の暦年統計（1月～12月）					単位	人
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	122,135	計画	123,000	123,500	124,000	124,500	
		実績					
指標名	住みよさランキングの全国順位						
設定理由	全国順位があがれば小諸市の魅力アップにつなり、移住者の増加につながるから						
算　式	全国812市区対象、安心度・利便度・快適度・富裕度の4視点からの偏差値平均					単位	位
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	26	計画	30以内	30以内	30以内	30以内	
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針	維持

「古くて新しいまち」や「高原リゾート」「動物園再整備」「懐古園の魅力」などのプロモーションにより、「こもろらしさ」を積極的に発信し、観光振興、移住定住促進につなげる。
・効果的な情報発信と民間事業者との連携により移住定住促進を進める。
・財源確保を図りつつ、動物園再整備を着実に進める。
・こもろ観光局と連携し観光地域づくりを進めるとともに、物価高騰等の影響が深刻な観光関連産業を支援する。

◆個別計画

観光地域づくりビジョン／動物園再整備基本計画

◆特記事項

施策　4-3　暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
布引温泉管理事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費	商工観光課	1:無

事業概要

布引温泉源泉の維持管理

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		1,901 千円	18,121 千円	1,121 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	1,900 千円	966 千円	966 千円
一般財源		1 千円	17,155 千円	155 千円

目的

「日帰り温泉施設　あぐりの湯こもろ」及び「布引温泉こもろ」に安定的に送湯するため、維持管理を適切に行う。

令和7年度の目標

・定期的に源泉ポンプ4基の維持管理を行う。
・安定した湧出量を確保し必要な送湯を行うため、月2回源泉の湧出量等の確認と適正な管理を行う。
・法定検査ではないが、源泉の安全性を保つため年1回の自主的検査を行う。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
源泉の湧出量と温度の確認回数	回	24	24	24
源泉の衛生検査の回数	回	1	1	1

特記事項

施策　4-3　暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
まちなか活性化施設運営事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費	商工観光課	1:無

事業概要

駅前の賑わいを創出している「市民ガーデン」と旧北国街道沿いのまちづくりに寄与している「ほんまち町屋館」「与良館」等の交流拠点施設を指定管理方式で管理運営する。

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		13,997 千円	13,956 千円	13,956 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		13,997 千円	13,956 千円	13,956 千円

目的

交流人口の増加を図るため、各施設の特色を活かした交流拠点となるように施設の運営を行うと伴に、施設の在り方についても検討する。

令和7年度の目標

・市民ガーデン、ほんまち町屋館、与良館の管理運営をする指定管理者が各施設の設置目的に沿った管理と各種講座及びイベント等の自主事業が開催できるよう、指定管理者と連携を図り、維持管理に努める。
・荒町館のあり方について、指定管理者の荒町区と話し合いの場を設け、公民館として移行していくか又は施設の方向性を決めていく。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
市民ガーデンのレジ利用者の人数	人	23,348	23,698	24,053
ほんまち町屋館のイベント・地域交流日数	日	50	50	50

特記事項

施策　4-3　暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
観光振興事業	継続	B
会計・款・項・目	**所管課**	**市長公約事項**
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費	商工観光課	2:有

事業概要

こもろ観光局と連携し、地域の魅力を効果的に情報発信することで観光誘客を図る。

・こもろ観光局と連携した観光振興につなげる事業実施
・関係団体による観光振興等につながるイベント開催等支援
・観光関連情報の収集と発信

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		9,482 千円	9,482 千円	9,482 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		9,482 千円	9,482 千円	9,482 千円

目的

こもろ観光局と連携し、ブランド力を活かした情報発信により観光誘客を図るとともに、新たな観光素材の掘り起こしなど地域経済の活性化につなげる。

令和7年度の目標

・こもろ観光局と連携し、観光統計やKPI数値等を活用して戦略的で効果的な観光事業を実施する。
・関係団体、庁内関係部署と観光事業遂行のため主となって情報共有、事業連携を推進していく。
・こもろ観光局と連携して、訪日旅行誘客（インバウンド）誘客に注力し、新規商品の造成や地域の観光事業者の受け入れ態勢を整備する。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
こもろ観光局（日本版DMO）との連携に係る推進会議の開催数	回	12	12	12
ICT(ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ等)を活用した観光情報の発信回数	回	400	400	400

特記事項

施策　4-3　暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
観光施設運営事業	継続	B
会計・款・項・目	**所管課**	**市長公約事項**
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費	商工観光課	1:無

事業概要

旧脇本陣滞在型交流施設（粂屋）及び観光施設付属トイレの適正な運営及び維持管理を行う。
・旧脇本陣滞在型交流施設「粂屋」
・火山館（太陽光発電設備）、トイレ（浄化槽）、 バイオトイレ（R4太陽光発電設備改修）
・浅間山荘公衆トイレ
・車坂峠公衆トイレ（環境省設置、市管理 R4環境省貯水槽設置）
・布引観音公衆トイレ

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		8,927 千円	8,449 千円	8,473 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	605 千円	506 千円	506 千円
一般財源		8,322 千円	7,943 千円	7,967 千円

目的

交流人口、関係人口の増加を図るため、利用しやすい観光施設の管理運営を図る。

令和7年度の目標

・浅間山防災拠点である火山館の将来的に安定した運営方法について検討する。
・粂屋のより良い活用方法、適正な運営及び維持管理を図る。
・インバウンドに向けた案内、看板等を検討する。
・施設整備の優先順位を再確認し、必要な整備を実施する。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
観光施設（トイレ等）の見回り数	回	4	4	4
火山館の訪問数	回	4	4	4

特記事項

施策　4-3　暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
移住・定住促進事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費	商工観光課	2:有

事業概要

移住・定住を促進する事業の推進
・移住・定住促進に係る支援業務
・移住定住人口の増加に向けた情報の収集と発信

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		44,688 千円	44,605 千円	44,605 千円
特定財源	国・県支出金	18,750 千円	18,750 千円	18,750 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		25,938 千円	25,855 千円	25,855 千円

目的

移住・定住促進において、民間事業者の視点をもちながら誘致活動を行い、移住希望者へ農ライフ事業などの新たな移住施策を促すことで、小諸ならではの選択肢を増やす。

令和7年度の目標

・民間宿泊施設を活用した移住体験助成制度を運用し、移住希望者の増加を図る。
・子育て世代や空き店舗活用、創業希望者をターゲットとした移住推進の取り組みを行う。
・小諸の特色を活かしたツアーの企画やPRを行う。
・空き家バンク登録件数を増やすとともに成約率も維持する。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
移住につながる催しへの参加やイベントの開催件数	回	10	10	10
空き家バンクへの登録件数	件	50	50	50

特記事項

施策　4-3　暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
観光地域づくり事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費	商工観光課	2:有

事業概要

・こもろ観光局と連携協力し、小諸の自然や歴史・文化を活かした効果的なプロモーションを展開するとともに、地域の魅力を掘り起こし、市全体で来訪者を受け入れる「観光による地域づくり」に取り組み、インバウンドも含めた交流人口の増加を目指す。また、動物園再整備により懐古園の魅力アップを進め有料入園者数の増加を図る。
・企業版ふるさと納税を活用した高原ウェルネスリゾート推進プロジェクトにより、上信越高原国立公園（浅間山・高峰高原）を中心とした観光地域づくりを進める。

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		334,612 千円	30,801 千円	30,801 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	30,015 千円	1 千円	1 千円
一般財源		304,597 千円	30,800 千円	30,800 千円

目的

こもろ観光局と連携・役割分担により、観光資源、地域資源を活用した観光地域づくりのための各種事業を実施し、懐古園、高峰高原及び地域の活性化を図る。

令和7年度の目標

・こもろ観光局を含めた観光振興推進体制を構築するため、組織体制の見直しを行う。
・こもろ観光局及び庁内関係部署と連携しブランディングの取り組みを進める。
・動物園第2期整備工事の建設工事の最終年度であるため年度内に完了するよう着実に行う。
・ゼロカーボン戦略推進、高原ウェルネスリゾート推進のため、広域を含めたEバイク活用の検討をしていく。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
観光地入込数	万人	187	196	204

特記事項

施策　4-3　暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
懐古園運営事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
小諸公園事業特別会計・1公園費・1公園費・1公園費	懐古園事務所	1:無

事業概要

・懐古園の維持管理及び運営を行う。（動物園、遊園地、駐車場を含む）

投入指標

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		168,000 千円	159,000 千円	156,000 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	167,999 千円	159,000 千円	156,000 千円
一般財源		1 千円	0 千円	0 千円

目的

観光施設としての懐古園の魅力アップのため、適切な施設整備と維持管理を行う。

令和7年度の目標

・園内の桜の樹勢回復を図りながら、桜の植栽を進めていく。
・県内外の幼稚園、保育園等へ営業を行い、親子遠足などによる来園者増を目指す。
・こもろ観光局や観光交流係と連携して誘客や宣伝を行い、交流人口の増加を図る。
・動物園再整備第2期工事を竣工させ、開園100周年に向けた準備を進める。
・園内各施設の維持管理や修繕を計画的に進める。

活動目標

指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
懐古園への来園者数	人	220,000	220,000	220,000
動物園のX（旧ツイッター）のフォロワー数	人	39,000	39,000	39,000

特記事項

動物園全面閉園中は入場料の割引を行うため公園使用料の減少が見込まれる。

事務事業名					新規・継続
小諸公園事業特別会計繰出金					継続
会計・款・項・目					所管課
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費					商工観光課
投入指標			令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費		52,620 千円	40,418 千円	37,418 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源		52,620 千円	40,418 千円	37,418 千円